

# あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和6年1月

相談員 杉澤 琴美

新たな年が始まりました。利用者さんと一緒に過ごすかけがえのない日常を大切に、あうんスタッフ一同、精進してまいります！  
今号では、慌ただしく過ぎ去った12月の活動をご報告します。

## 12月と言えば、クリスマス



12月はクリスマス仕様に室内が飾り付けられており、あうんは1年で一番華やかに彩られています。クリスマス行事は少し早めの21日に開催しました。昼食はいつもよりも華やかさを重視して、イベント気分が上がるワンプレートで用意しました。

そして、あうんのクリスマスと言えば…  
そう、あの人が来る日です！

3時のお茶の時間に鐘の音とともに登場したのは、あうんのアイドル・圭子ちゃん！！突然の異世界に、利用者さんたちは驚きと笑いに包まれます。100万ドルの笑顔とともに配られたクリスマスケーキでティータイム、その後には2ショット撮影権を賭けたビンゴ大会。そして皆さんにもパーティー帽子をかぶっていただいて記念撮影を行いました。締めくくりには、生演奏で『きよしこの夜』を合唱しました。

「子どもや孫のためにクリスマスをしてきたけど、自分のためにしてもらうのは初めて」とおっしゃる方、ご家族の名前を挙げて「〇〇にも見せてあげたかった」とおっしゃる方。満面の笑顔と嬉しいお言葉をいただきました。

ところで圭子ちゃん、正体は誰かわかりますか？2月には赤鬼、10月にはカボチャマン、12月にはミニスカートのサンタさん…情熱を注いで変身しています。

年々化粧のりが悪くなることを気にして、今回は3日前からパックで磨きをかけての登場でした。

その成果はいかに!?



ふだんは  
管理者やってます



シーフードピラフ、スープ  
煮込みハンバーグ、ポテサラツリー

## かぼちゃと柚子



12月22日は冬至でした。あうんのお風呂には柚子が2つ浮かんで良い香りを漂わせ、利用者さんの心も体も温めてくれました。

午後には利用者さん皆さんに参加していただきかぼちゃ団子のお汁粉を手作りしました。蒸したかぼちゃを潰して片栗粉を混ぜ、一口大に丸めたら再び蒸し器へ。器に盛ってお汁粉を注いだら完成、お茶の時間にいただきました。元々甘くて美味しいかぼちゃをひと手間かけて団子にしたことでもっちり食感になり、更に美味しく仕上がりました。これで厳しい冬を乗り切れますね！



## 日々の食卓より



12月27日・28日の両日は、あうんの1年の締めくくるお食事。「細く長く」生きられますようにとの願いを込める年越しそばに対し、あうんでは「図太く長く」生きていただきたいとの願いを込めまして年越しうどんをご用意いたしました。楽しく食事することは健康長寿の秘訣です。あうんの手作りの食事で、今年も「図太く長く」頑張っていきましょう！



年越しうどん、いなり寿司、天ぷら

## こぼれ話

年の初めの試しとて♪で始まるお正月の歌、『一月一日』。我々スタッフ世代にとっては「芸能人かくし芸大会の歌」として馴染みがあります。年末の談話の中でふと口ずさんでみると、利用者さんの多くが一言一句間違えることなく歌えることが判明しました。利用者さんたちの子ども時代には元旦は登校日で、校長先生のお話を聞いた後にこの歌を歌ったとのことでした。終戦後にはこの行事は行われなくなったこと、特に2番の歌詞から、時代背景が感じられます。「集会の後にちょっとしたお菓子をもらうのが楽しみだった」「一張羅を着て登校した」…歌をきっかけに、利用者さんの思い出が溢れ出していました。

1曲の歌を通して、世代によってその位置づけが全く異なるというのはとても興味深いことです。あうんで出会うことがなければ、こんな世代間交流は生まれなかったのですよね。

今年も良い年になりますように♪